

令和元年度
社会福祉法人 芦屋みどり福社会
事業報告

1. 社会福祉法人 芦屋みどり福社会
2. 芦屋みどり作業所
〔就労継続支援B型
自立訓練（生活訓練）〕
3. 芦屋みどりホーム
〔共同生活援助〕
4. みどりホーム
〔短期入所〕

社会福祉法人芦屋みどり福祉会 令和元年度事業報告

理事長 大澤二郎

令和元年に関しては、従来からの日中活動としての就労継続支援B型と自立訓練（生活訓練）からなる多機能型事業所「芦屋みどり作業所」と障害者の生活や就労を支える「芦屋みどりホーム」（共同生活援助）、そして宿泊等を利用して、入浴、排泄、食事の介護などを提供する「みどりホーム」（短期入所）の運営とともに、芦屋市・西宮市委託の「日中一時支援事業」を行いました。又、12月に県民局による定期監査があり、①短期入所と日中一時支援の重複請求の誤り、②グループホームの帰宅時支援加算の記録の不備の指摘があり、社会福祉法人として反省するとともに返還に応じました。

① 芦屋みどり作業所（就労継続B＋自立訓練）

地域のニーズに応えるという意味では、平成29年度以後、隣接する芦屋特別支援学校の卒業生の入所が続き、令和元年も支援学校高等部卒業生の入所がありました。そして、それとともに利用者の重度化の傾向がともない、職員の重度障害者に対する支援の研修として「きらくえん」（高齢者施設）への実習を行いました。又、地域移行の流れから精神障害者の退院後の受け入れもさせていただきましたので、利用者数が定員（30名）近くになり、今後の定員増の対応を迫られています。又、開設当初から務めていただいた田中管理栄養士が退職され一時給食弁当を提供し栄養面で利用者に迷惑をかけましたが、令和2年から田中管理栄養士が復職される予定です。そして、余暇活動としては、令和元年12月に三重県の「ながしまスパランド」一泊旅行に行き利用者みなさんに楽しんでもらいました。

② 芦屋みどりホーム（共同生活援助）

令和元年度のグループホームに関しては、芦屋みどりホーム（春日町・定員15名）、みどり第2ホーム（陽光町・定員12名）、みどり第3ホーム（若葉町・定員6名）の運営を行い、各ホームとも事故等もなく、順調な運営を行うことができました。そのうち、春日ホームに関しては、老朽化のために改修等の必要を感じ、令和元年に国の施設整備費補助金の申請を行い、令和2年度の建て替えを計画しています。

③ みどりホーム（短期入所）

令和元年は隣接する芦屋特別支援学校生徒の短期入所利用が増え、中学部や高等部の生徒さんが、定期的に利用されるようになりました。障害を持たれた方々が家庭から離れて施設で生活することで自立につながると考え、学校の先生や保護者の方々との連携を図り、食事、入浴、排泄等の基本的な生活習慣の確立に向けて支援をさせていただきました。

◎契約 自動更新の契約書により、4月利用者と契約をしました。

◎個別支援計画 利用者の要望・現状の課題等をもとに個別支援計画を作成しました。4月に立てた個別支援計画は、9月に見直すとともに、利用者の希望や必要に応じて随時新しい支援計画に改定し、日常の支援はこの支援計画をもとに行いました。職員全体で個別支援計画作成のための支援計画会議を行い、個々の利用者に対し職員間の一致と方向性を同じくし、日々の支援を行い、充実したものになるよう心がけました。

◎就労継続支援事業B型

*定員24名 在籍人数 31名(内長期欠席者2名) 3月現在

*職員:管理者1名、サービス管理責任者1名、栄養士1名(8月まで)、調理補助1名(8月まで)、職業指導員1名、生活支援員 3名

*事業の目的 障害者総合支援法に基づき、一般企業での就労が困難な利用者に対して、働く場を提供すると共に、知識及び能力の向上に必要な支援、訓練を行いました。

*作業の内容

屋外作業 ①市内12か所の公園清掃、②総合福祉センター(除草年2回込)、③市立 6 保育所ゴミ処理、剪定
④マンション清掃。⑤総合公園。⑥リードあしや、⑦個人宅の庭の手入れ、⑧その他の請負業務

屋内作業 ①手作り雑巾、②竹箸セット、③ダイドーハント(ボルト・ナット作業)

販売作業 打出商店街、福祉センター、作業所前での売店販売(内容:雑巾、竹箸セット、すずかけクッキー)
自動販売機のジュース販売(福祉センター、作業所前) 福祉バザー(6月29日)

芦屋市から委託された公園清掃のうち2か所は、作業所に近いため月～金曜日に徒歩で出かけています。残り10か所は週に一度、車で巡回し清掃しています。どの仕事も地域に出でいき、市民と触れ合う場所でおこなっており、気をつかうところもありますが、市民の方に障害者を理解していただけるように、また気持ちよく公園を使っていただけるようにと頑張っています。

内職のダイドーハントの仕事も増えてきて、いつもの手作り雑巾だけでなく仕事の幅が広がりました。

*令和元年度 年間作業収入 約 6147203 円

*年間支払工賃総額 約 395 万 1ヶ月当たりの平均工賃 11.350 円

*工賃支払人数 延べ人数 348 人 (24.8 人/月)

◎自立訓練(生活訓練)

*定員6名 在籍人数 6名 3月現在

*職員:管理者1名、サービス管理責任者1名、栄養士1名(8月まで)、生活支援員 2名

*事業の目的 日常生活能力をより豊かに向上するための訓練と個別の相談支援を行いました。(通所による支援)

*プログラムの取り組みが個々の能力によって違ってくるので、プログラムのための企画打ち合わせや準備をし、それを基本に丁寧な支援を目指してきました。3か月ごとに個々の方のモニタリング記録をつくり、7月、10月、1月、4月に利用者との面接をしました。できる限り要望を聞き、細やかに目標を立てながら取り組んできました。

自立訓練プログラムは毎週火曜日の午後1時～3時15分に行いました。年に1度、1日プログラムを行い、三宮に買物に出かけ、自分の工賃で食事や買い物を楽しみました。

日々の公園作業や内職、土曜・祝日開所、イベント等は就労継続B型といっしょに行いました。

*令和元年度 年間自立訓練プログラム内容

4月	4/2 親子お花見ハイキング、カメラを持って近隣散策、ぜんざいづくり 4/4 写生ハイキング 4/9 マドレーヌづくり 4/16 調理 スイートポテトケーキ 4/23 ダイエーに買い物
5月	5/1 日帰り遠足 ハーバーランド 5/7 母の日の手紙、アイスクリームパフェづくり 5/14 調理 クッキーづくり 5/21 買い物と次 回服の買い物の下見 5/28 調理 マドレーヌづくり
6月	6/4 自分の服の買い物 6/11 ミックスジュース 父の日の手紙 6/18 お弁当作り お弁当をもって陽光公園へ 6/21 マルハチに買 い物 6/29 福祉バザー
7月	7/2 調理 チヂミづくり 7/9 暑中見舞いのハガキを書く、コーヒーフロート 7/16ダイエーに買い物 7/23 調理 お好み焼き 7/30 花の買い物と花壇の手入れ 花を植える
8月	8/6 調理 みかんのカルピスゼリー 8/9 納涼会 8/20 ドリル アイスティ 8/27 調理 カルピスゼリー おやつ分50個
9月	9/3 りんごの皮むきとフルーツポンチ おやつ分60個 9/10 買い物 コーラフロート 9/17 昼食づくり 揚げそば、中華スープ、卵と じ、果物 9/24 カメラを持って近隣散策 茶話会
10月	10/1 調理 マドレーヌづくり 10/8 調理 昼食作り カレーライス、ポテトサラダ、卵焼き、ミックスジュース 10/18 買い物 マルハチ 10/25 調理 昼食作り さつま芋の炊き込みご飯、ビーフシチュー、パスタサラダ、バナナジュース お菓子 10/29 調理 パウンドケーキ
11月	11/6 カメラを持って近隣散策 11/13買い物 マルハチ 11/19 昼食 お弁当作り 11/26 調理 さつま芋のパウンドケーキ
12月	12/3 年賀状 12/10 調理 お好み焼き 12/17 調理 クリスマスケーキ 12/19 忘年会
1月	1/14 買い物と茶話会 1/16 新年会 王将 1/17 震災記念日 豚汁の炊き出し参加 1/21 調理 昼食作り ちらし寿司 焼き魚 ときのこのあんかけ スープ 果物1/28 バレンタインデーに作るケーキの材料買い出し
2月	1/4 昼食作り カレードリア オムレツ スープ アイスクリームパフェ 2/12 調理 チョコブラウニーケーキ 2/18 三宮に買い物 2/25 買い物 茶話会(買い物ツアーの反省会)
3月	3/3 色紙を書く 3/10 調理 ケーキ作り 3/17 サイゼリヤで昼食 3/24 調理 昼食づくり オムライス サラダ コロッケ スープ 3/31 買い物と卒業式
毎月	毎週木曜日: 図工、第1第3金曜: 音楽 毎週土曜開所: 行事参加、カラオケ、調理、ドライブ、散歩等

◎年間イベント

仕事だけでなく、作業所での日々をより豊かに充実したものとなるようイベント等の企画をしました。

- 4月 親子お花見ハイキング、写生ハイキング、さくらまつり見学
- 5月 祝日開所、日帰り旅行（ハーバーランド）、ハイキング（野外昼食）
- 6月 健康診断、福祉バザー
- 7月 七夕飾り作り、精道中にて七夕茶会 ボーナス、サマーカーニバル、保健福祉フェア、水泳訓練1回
- 8月 精道中学校との交流ソフトボール大会、ホーム・作業所合同納涼会、コミスク夏祭り、水泳訓練2回
- 9月 陶器絵付け
- 10月 陶器絵付け、日帰り旅行（須磨水族園）、健康講座・健康診断の個別結果説明会
- 11月 YMCAチャリティラン3チーム参加、三田谷フェスティバル、二葉教会バザー、芦屋市ふれあい運動会
- 12月 インフルエンザ予防接種、1泊三重旅行、障害児・者作品展、作品展見学、ボーナス、芦屋市年末の集い
ケーキの日・ケーキ贈呈式、忘年会「カラオケ大会」、ジョギング
- 1月 ホーム・作業所合同新年会「王将」、えびす参り、ジョギング
- 2月 節分の豆まき、バレンタインデーのチョコケーキづくり（自立訓練）、バレンタインゲーム大会（保護者会主
権）、ジョギング
- 3月 ジョギング、コロナ対策のため音楽中止
- 毎月 音楽（月2回）、図工（毎週木曜）、昼食会（選択メニューと誕生会）、散髪、保護者会、コーヒータイム
体重血圧測定、毎週土曜開所・祝日開所（行事参加、カラオケ、調理、卓球他）

◎ その他

- *栄養士によるカロリー計算された美味しい昼食提供をしました。月1度の昼食会の選択メニューや野外昼食も好評でした。
（8月まで）。栄養士の退職により9月よりまるみやの仕出し弁当（日替わりメニュー）になりました。
- *毎日、グループホームから作業所、自宅から作業所（自力通所できない方）、最寄りの駅から作業所の送迎サービスを行
いました。運転手は安全運転に心がけました。
- *月に1度利用者さんの保護者で理容師をしておられる岸さん、職員の泉さんに散髪をしていただきました。
- *ホーム、短期入所との連携や計画相談事業との連携、他事業所、保護者との連携を大切にし、必要な時は支援会議を
開き、利用者がよりよい生活を送れるように取り組みました。
- *担当者を決め業務日誌、ケース記録、各会議記録、研修記録、ヒヤリハット等の必要な記録を残しています。
- *年に2回の避難訓練、消火訓練を行いました。
- *教員免許取得希望者の介護等体験事業による大学生の実習を年間34名受け入れました。仕事やスポーツ、レクレーシ
ョンをいっしょに楽しみ、利用者はとても喜んでおられました。
- *月に1度、保護者会を持ち、作業所の様子や行事案内、予定表を説明し、また家庭での様子をお聞きしました。

令和元年度「芦屋みどりホーム」事業報告

管理者 大澤二郎

サービスの種類	共同生活援助(グループホーム)	定員33名(実績28名)
共同生活住居 ①芦屋みどりホーム	芦屋市春日町18の12	定員15名(実績14名)
共同生活住居 ②みどり第2ホーム	芦屋市陽光町4の60	定員12名(実績10名)
共同生活住居 ③みどり第3ホーム	若葉町4の1の223・224	定員6名(実績4名)

1、サービス実施内容

①障害のある方が地域において、共同で自立した社会生活が営めるように、相談や日常生活上の支援をしました。又地域との結びつきを重視し、利用者が生活する市町村や他のサービス事業者と連携して、社会的自立ができるように支援をしました。

②芦屋市においては、障害者が生活する為のグループホームが少なく、今後保護者の高齢化が進む中で、その利用は益々高まっていくと思われます。さらに、最近の傾向として、精神に障害を持つ方達の病院から退院後の生活の場としてのニーズも増えています。このような状況を考えると、グループホームの増設は緊急の課題だと思われます。

③令和元年度は、約28名の方が3ヶ所のホームで生活をされましたが、その約半数の利用者が保護者の死亡や高齢化で土・日および盆・正月が帰省できない状況にあり、今後は、土曜・日曜、盆・正月対応に関して、職員体制をより充実して、「親なき後」の生活を支えていく必要があります。

④又、ホームは就労を支える場としても大切です。3ヶ所のホームから、一般就労として工場や会社に通う方、みどり作業所へ通う利用者達の就労を支援しました。

⑤余暇活動として、12月に三重県「ながしまスパランド」にみどり作業所と一緒に一泊旅行に行ってきました。

2、職員配置及び職務内容

イ、管理者(芦屋みどり作業所と兼務)は、従業者の管理、共同生活援助の利用の申し込みに係る調整、業務の実施状況の把握その他の管理を一元的に行うとともに、従業者に対し法令等を遵守させるために必要な指導を行いました。

ロ、サービス管理責任者は、個々の利用者の個別支援計画を作成し、その支援計画に基づいてサービス管理や評価および支援を行いました。

ハ、生活支援員は、生活上の相談に応じ、日常生活の適切な支援を行いました。

ニ、世話人は、食事の提供や日常生活の支援を行いました。

3、春日町ホームの建て替え

現在共同生活住居が3施設ありますが、そのうち春日町ホームは平成14年に建設し(当初は作業所と併用)、途中隣地を購入し、増設している為にホームとしての利用に関して、不便を感じています。そしてその為に、令和元年に補助金の申請行い、令和2年度には社会福祉充実計画に基づいて、グループホーム定員16名、短期入所定員1名で建設費用約1億円の鉄骨3階建の芦屋みどりホーム(春日ホーム)の建設を行います。

①実施期間 平成31年4月1日～令和2年3月31日

②実施場所 芦屋市陽光町4-60

③職員体制 管理者1名 生活支援員3名

④実績

月	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	月計	実人数	稼働率
4	8	2	47	50	13		120日	16人	33%
5	8		60	57	10		135日	17人	36%
6	8		63	55	15		141日	18人	39%
7	8		66	56	15		145日	18人	38%
8	8		53	57	21		139日	15人	37%
9	8		67	56	20		151日	17人	41%
10	8		47	58	21		134日	16人	36%
11	8		55	69	29		161日	18人	44%
12	8		54	64	24	8	158日	19人	42%
1	8		55	72	24	8	167日	19人	44%
2	8		33	36	36	8	121日	17人	34%
3	8		26	23	41	8	106日	15人	28%

⑤総括

令和元年度の利用実績からみると、利用人数、稼働率ともに若干上昇傾向にあったが、3月は稼働率が減少している。要因としては、新規の利用者は数名おり、継続しての利用があったためと思われる。3月の稼働率の減少はグループホームへの入所が1名、利用中止が1名いたためと考えられる。

利用につながる経緯については、利用者家族等からの問い合わせも若干あったが、相談支援事業所を通しての問い合わせ、利用というケースも増えてきている。そのような状況を踏まえ、新規利用者の獲得には相談支援事業所への空床情報の提供が必要である。支援の面では重度な利用者が若干増加傾向にある。そのため職員が専門性の高い知識等を取ることができるような職場環境が必要である。